

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研) 産学連携情報交流会のご案内 ～産学連携のきっかけづくりを支援します～

- 【日 時】平成30年6月28日(木) 9時～18時
【会 場】産総研つくばセンター(茨城県つくば市梅園1-1-1)
※JR大井町駅付近集合、貸し切りバスで現地に向かいます。
【対 象】区内製造事業者および情報通信事業者
【定 員】20名(先着 申込順)
【参加費用】無料(※ただし、昼食代の実費負担があります)
【申込方法】電話またはFAX(裏面参照)

■開催趣旨■

産学連携に興味があるが、どこに相談をすれば良いか分からない、大学や研究機関は敷居が高いと感じている企業様の声を数多く頂いております。

そこで、国内最大級の公的研究機関である国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)との情報交流会を開催します。今回は全国にある産総研の研究拠点のうち、特に中核的な研究拠点である「つくばセンター」を訪問します。

当日は、産総研の産学連携担当者による産学連携の取り組みの紹介や施設見学のほか、各分野の研究員の方から最新の研究内容についてご説明いただきます。

最先端の研究や設備等に触れる貴重な機会ですので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

■情報交流会の内容■ ※予定は変更する可能性があります

- 9時 JR大井町駅付近集合 (※詳細は参加者に別途ご案内します)
11時 産総研概要説明、昼食 (※実費負担)
サイエンススクエア見学 (※産総研の代表的な研究成果の紹介)
13時 各分野の研究者による講演と研究室見学(3テーマ)
①機械・ものづくり
「個別ユーザニーズを一つ一つ具現化する超小型半導体生産システム・ミニマルファブ」
②ロボット・IoT
「高精度マーカを用いた簡易計測システムの開発と応用」
③材料
「スーパーグロースCNT添加によるゴム・樹脂の高機能化」
16時 終了
18時 解散(※道路状況により、この時間より遅くなる場合があります)

サイエンススクエアについて（産総研HPより抜粋）

産総研が生み出す技術がいかに安全、安心、快適な社会を作っているのか、作っていくのかを映像や成果品等を通して広く知っていただくための展示施設です。

各研究室の紹介（産総研資料より抜粋）

①機械・ものづくり（「個別ユーザニーズを一つ一つ具現化する超小型半導体生産システム・ミニマルファブ」）

ミニマルファブとは多品種少量および変種変量デバイスに適應した新しい半導体生産システム。完全密閉シャトル内で生産するので、クリーンルームが不要で、工場ラインと試作ラインの投資規模を大幅にコンパクト化しました。コスト競争力だけでなく、研究開発直結型であることで高付加価値化を実現し、変種変量の潜在市場の獲得を目指しています。

②ロボット・IoT（「高精度マーカを用いた簡易計測システムの開発と応用」）

「自分や対象物の位置を知る」ことは、多くの工学システムに必要な要素技術です。産総研では、マイクロレンズアレイを用いた新しい原理のマーカを開発し、従来の平面マーカの二大重要問題（「正面観測時の姿勢精度の悪さ」および「姿勢の曖昧性」）を解決しました。ロボット制御や計測、ARのほか、近年盛んな各種の位置情報サービスを支える測位インフラとしても利用できます。

③材料（「スーパーグロースCNT添加によるゴム・樹脂の高機能化」）

産総研が開発したスーパーグロース法で作製した単層カーボンナノチューブ（SGCNT）を加えることで、ゴムや樹脂に高い耐熱性と機械強度を同時に付与することができます。今後、軽金属材料などに代わり、自動車・航空・宇宙産業部材等の材料として、飛躍的に適用範囲を拡大することが期待されています。

----- 切り取り不要 -----

【申し込み方法】電話またはFAXでお申込みください。

産学連携情報交流会参加申込書（FAX用）			
カ ナ 貴社名		業種	
住所	〒 品川区		
氏名		ふりがな	
ご連絡先	TEL	携帯電話（当日連絡可能な連絡先）	
	FAX	E-mail	

※必要事項をご記入の上、FAX（03-5498-6338）でお送り下さい。

※FAXの場合は参加申込書を切らずにそのまま送信ください。

※当日の詳細は参加者に別途ご連絡いたします。

【お申込み・お問合せ】

品川区商業・ものづくり課

（担当：寒河江、小川）

品川区西品川1-28-3

電話 03-5498-6351